

## TOP MESSAGE

### グローバル・メディカルカンパニーに 成長する日本トリム

#### 健康経営を軸に整水器販売拡大へ

日本トリムグループは、機能水「電解水素水」事業を軸に、再生医療分野等の新規事業の構築により、グローバルなメディカルカンパニーへの飛躍を目指しております。

昨年は、水素水に関する一連の報道の影響で販売効率が低下しましたが、新たな芽がでた1年でもありました。2017年2月には経済産業省と日本健康会議が認定する「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定され、当社の健康に対する取り組みが対外的に評価されました。当社の整水器は、国策として進められている「健康長寿社会の実現」「健康経営」に大きく貢献できます。第36期は法人への健康経営提案の強化、PRや営業ツールを刷新し、販売効率を回復させてまいります。

#### 深化する電解水素水研究

当社では、水素水研究のパイオニアとして20年以上にわたり産学共同研究を実施してまいりました。大学病院等での臨床試験も含め、当社の研究は新たなフェーズに入りました。

より高いレベルのエビデンスが求められる中、東北大学では糖尿病患者への臨床研究を実施しております。また、本年秋には、高知県須崎市で電解水素水飲用による大規模な臨床試験を開始する予定です。さらに、電解水素水の効果と機序をより明らかにするために、国内の大手研究機関と包括的な共同研究の実施に向け協議しております。これらの取り組みが今後、整水器の普及促進に大きく寄与すると考えております。

#### 先進医療分野拡大へ

医療関連事業は、将来の日本トリムグループの中心になります。電解水透析事業は収益貢献するステージに入りました。一方で(株)トリムメディカル ホールディングスでは、今後の大幅な市場拡大が見込まれる先進医療分野の事業基盤強化に取り組んでおります。国内最大の民間さい帯血バンクの(株)ステムセル研究所では、過去最高の収益を計上し、今後成長スピードを加速させてまいります。本年4月に国産の細胞医薬品の開発を行うヒューマンライフコード(株)を設立、本年5月には医療関連機器の開発を行うストレックス(株)と資本提携を結び、さらなる業績伸長に向けて体制を強化しております。

日本トリムはベンチャー企業です。今後も社員一同、飛躍的成長に向けて挑戦してまいります。株主の皆様には、相変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社日本トリム 代表取締役社長

森澤 紳勝



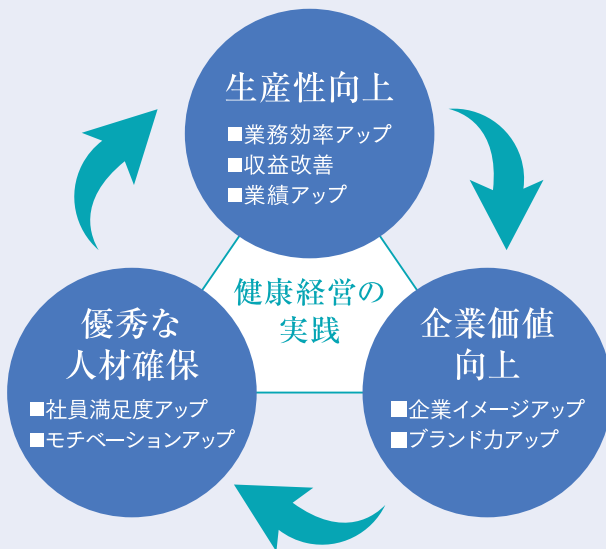
# ウォーターヘルスケア事業

## 国が推進する「健康経営<sup>※</sup>」を柱に 整水器の普及を図る

健康経営とは、社員の健康に投資することで生産性の改善を図り、経営の効率化、収益の改善を目指すもので、健康長寿社会の実現にむけて日本国政府が推進している重要な施策です。当社では、第二の脳ともいわれる腸の調子を整えることが健康維持に大切であると考え、胃腸症状の改善が認められた当社の

電解水素水整水器の活用を健康経営の選択肢として積極的に提案しております。健康経営の提案により、企業や健康保険組合等の全事業所に一括導入いただいた事例も複数出てきており、今後は健康経営を軸とした整水器のさらなる普及・拡販に取り組んでまいります。

### 健康経営のサイクル



※健康経営は特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

### 健康経営提案のメリット

- 1 職域での説明会販売時、個人への販売から企業設置も同時に提案する事により販売効率が向上します。
- 2 各店舗へリースにて一括導入する企業が増え、BtoCの販売のみならずBtoBの販売が加速しつつあります。
- 3 当社が健康経営優良法人～ホワイト500～を取得した経緯や当社の医療費削減に成功した事例を紹介する事により、説明会開催の依頼が多く寄せられるようになりました。
- 4 整水器導入企業をホームページ上にて公開し、医療費削減などに成功した好事例を紹介した結果、他社企業からの引き合いが多数来ています。
- 5 当社が健康経営を実行する事で、国が掲げる健康長寿社会の実現に貢献してまいります。

## 健康経営優良法人 ～ホワイト500～

当社は優良な健康経営法人を経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。当社では胃腸症状の改善が認められた電解水素水整水器の活用、営業車の禁煙化、労務管理の徹底など様々な施策を実施し、当社社員の医療費が全国平均の約60%（※）という結果も出ております。今後も健康経営を一つの成長戦略と捉え、生産性向上を目指す法人様に対して積極的に健康経営の提案を進めてまいります。

※全国健康保険協会(協会けんぽ)「事業所健康度診断」および「事業所カルテ」より引用



■ホワイト500認定書

## 「次世代型ハウス」で 還元野菜プロジェクトが本格始動

当社は、連携協定を結ぶ高知県・南国市・JA南国市・高知大学の4者とともに官民学による「還元野菜プロジェクト」を推進しております。本年2月、高知県南国市に日本初の電解水設備を導入したオランダ式園芸用大型ハウスがJA南国市により建設され、TV(NHK)に報道されました。当プロジェクトは、農林水産省補助事業の助成金も得ており、今後「還元野菜®」の栽培技術の向上や育成効果の実証に精力的に推進し、国内外への展開を目指してまいります。

### 次世代型ハウス

- オランダ式園芸用大型ハウス
- 規模：ハウス面積約 6,928 m<sup>2</sup>(約 70 アール)、軒高 5.5m
- 建設費：3.4 億円(高知県補助金 46%、南国市補助金 31%、他事業者負担)
- 主な付帯設備：自動温度湿度管理設備、炭酸ガス発生設備、環境制御設備、環境データ測定装置、養液栽培システム一式、還元野菜整水器(6台)など



■還元野菜整水器



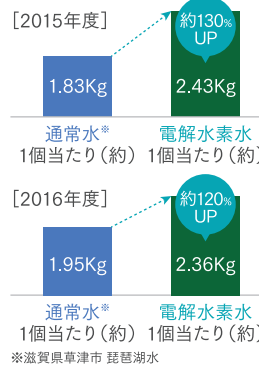
■日本農業新聞、掲載年月日：2017年4月4日

## 「還元野菜®」とは？

電解水素水の農業分野への応用としての「還元野菜®」。すでに様々な成果をあげ、将来の食糧問題(量)への貢献や、機能的野菜の品質向上が期待されています。

### 「還元野菜®」の特徴

- 1 電解水素水使用による収穫量の増加
- 2 品質改善による高機能作物の栽培
- 3 植物工場への応用、6次産業化



### メロンによる栽培事例



通常水  
(糖度14度)

電解水素水  
(糖度18度)

## 次世代型透析療法「電解水透析®」の普及拡大へ

電解水透析事業では、大手病院グループなどへの営業展開を積極的に進めております。研究開発におきましては、5年間の予後調査試験の研究成果を日本透析医学会(本年6月16~18日、パシフィコ横浜)で発表しました。今後の「電解水透析®」普及の大きな後押しになるものと考えております。



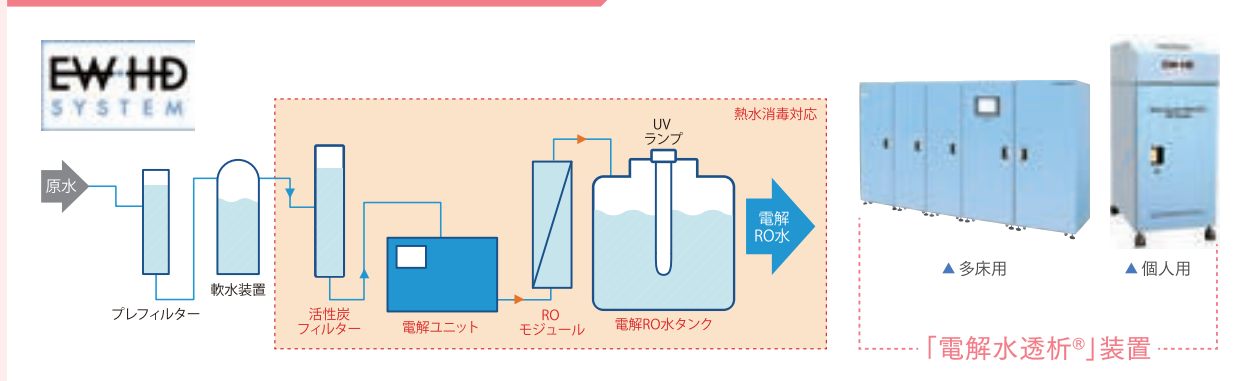
■電解水透析研究会

## 「電解水透析®」とは?

「電解水透析®」は、従来の透析治療に電解水素水を取り入れた新しい透析治療です。電解水素水の応用により、患者の血中酸化ストレスや炎症を抑え、治療後の疲労感の低減や、血圧を安定化して降圧薬を減らすことなどが

期待されています。2017年4月現在、「電解水透析®」は日本国内13施設245床で実施されております。当社はさらなる研究・臨床試験により、透析患者のQOLの向上、電解水透析事業の伸長に取り組んでまいります。

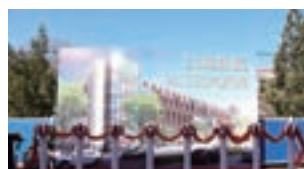
## 「電解水透析®」システムフローチャート



## 中国での病院運営事業



■病院の外観イメージ図



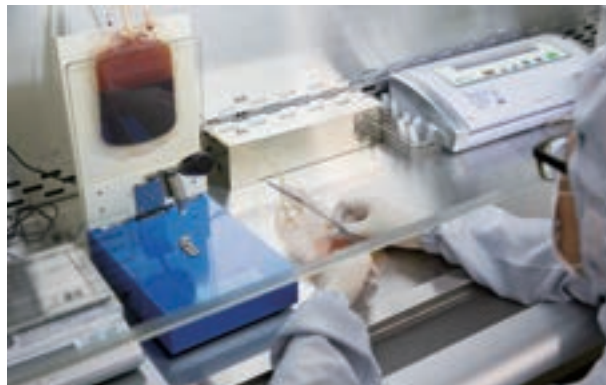
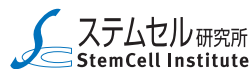
■2017年3月2日 起工式

中国における慢性期疾患(糖尿病治療・血液透析など)治療に日本式医療サービスを提供する病院運営事業では、フラッグシップとなる北京市の病院の年内開業に向け、着々と準備を進めております。中国の糖尿病患者数は既に1.4億人以上、予備群を含めると2.4億人以上といわれており、これを背景に血液透析患者も急増しています。北京を基点に、中国国内での事業拡大を目指します。

## 国内最大の民間さい帯血バンク

## さい帯血の保管者数が過去最高

国内市場シェア約95%を保有する(株)ステムセル研究所では、新規保管者数が前年比7%増と順調に伸長し、保管者数は40,382名に達しました。本年1月から小児脳性麻痺患者に対する臨床試験が高知大学医学部で実施されており、TV(NHK等)や新聞(高知新聞)で報道され、今後もさらなる臨床研究の実施とともに、認知度向上・業容拡大を目指してまいります。



## 新会社 ヒューマンライフコード(株)設立

## ヒト組織由来細胞を医薬品化

近年、胎盤やさい帯などのヒト組織由来細胞のもつ高い炎症抑制・組織修復能力が期待されております。当社グループは本年4月にそれらの細胞を医薬品化することを目的とする新会社ヒューマンライフコード(株)を設立しました。同社は国内外の企業との戦略的提携を通じ、高品質かつ安全な国産の細胞医薬品の供給体制を構築し、細胞医薬の産業化により、難治性疾患の治療の発展に貢献してまいります。



■日本経済新聞、掲載年月日：2017年4月1日

## ストレックス(株)との資本・業務提携契約締結

## 両社の分野から事業拡大へ

先進医療として今後の大幅な市場拡大が見込まれる再生医療及び生殖医療(不妊治療)分野の事業基盤強化を目的として、(株)トリムメディカル ホールディングスを通じてストレックス(株)との資本・業務提携をいたしました。(株)ステムセル研究所・ヒューマンライフコード(株)との連携を図り、再生医療分野の業容拡大に取り組んでまいります。



ストレックス株式会社

液体窒素・凍結剤不要で  
コスト削減を可能に

細胞の  
自動伸展装置

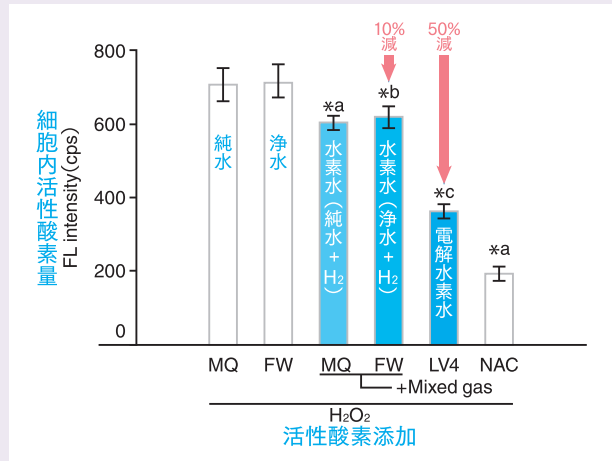


## 電解水素水の有意差を実証(米国科学誌PLOS ONEに掲載)

本年2月、米国科学誌PLOS ONEにて最新研究を発表しました。

電解水素水整水器から生成される電解水素水は、同水素濃度のバブリング水素水よりも細胞内の活性酸素消去能が5倍あるとの結果を得ました。電解水素水はバブリング水素水よりも抗酸化性が高く、電気分解によって生成することが有効であると考えられます。

※溶存水素濃度が同じ電解水素水または水素水で作成した培地処理後の細胞内活性酸素量の比較(水素水は純水+H<sub>2</sub>、浄水+H<sub>2</sub>で表記。論文PLOS ONE 2017 Feb 9; 12(2):e0171192より一部改編掲載)



## 畜産分野にも広がる研究

当社は電解水素水の飲用で馬の胃潰瘍発生を抑制し(※1)、競争馬の食欲低下を予防する(※2)という論文を帯広畜産大学と共同で発表しました。現在日本国内には約7.4万頭の飼育馬があり、競走馬の約90%、乗用馬の約70%が胃潰瘍を保有するとされています。今後、当社はさらなる研究を進め、電解水素水を畜産分野にも拡大してまいります。

(※1)JVM獣医畜産新報Vol.69 No.6「馬の非ステロイド系抗炎症薬誘発胃潰瘍に対する電解水素水の予防効果」(2016年6月)

(※2)馬の科学Vol.54 No.1「大井競馬場競走馬の消化器症状に対する電解水素水飲用の効果」(2017年3月)



## 電解水素水の新たな機能解明へ

### 糖尿病への飲用効果 (臨床)

【東北大学医学部】

2017年末に試験終了予定

### 電解水素水のバブリング水素水との差別化

【九州大学大学院農学研究院】

九州大学、東京大学との共同論文が2017年2月9日「PLOS ONE」に掲載

### 生活習慣病への飲用効果 (臨床)

【高知県須崎市・高知大学医学部】

医療費削減に対する影響(疫学調査)2017年10月から開始予定

### うつ病発症抑制への飲用効果

【カロリンスカ研究所】

共同研究を実施中

### 電解水素水の物性解明

【東京大学大学院工学系研究科】

電解水素水の抽出力に有意なデータ取得、浸透力に関する研究を実施中

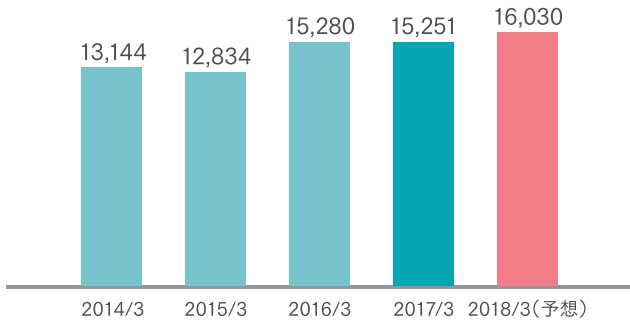
### 競走馬の胃潰瘍発症抑制への飲用効果

【帯広畜産大学臨床獣医学研究部門】

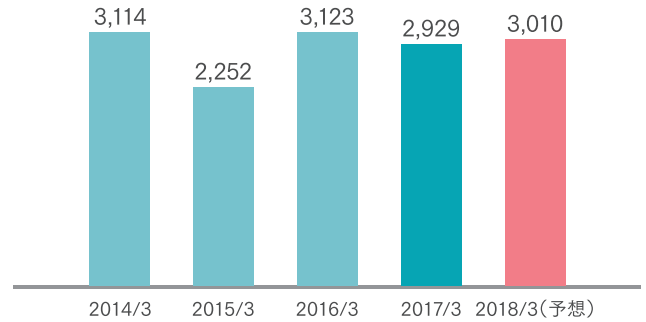
大井競馬場での試験結果の共同論文が2017年3月「馬の科学」に掲載

## 財務ハイライト

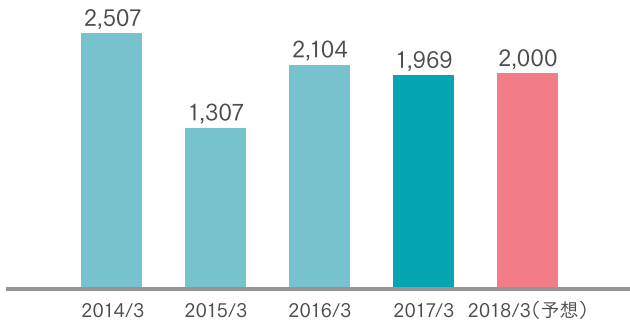
売上高  
152億51百万円 (百万円)



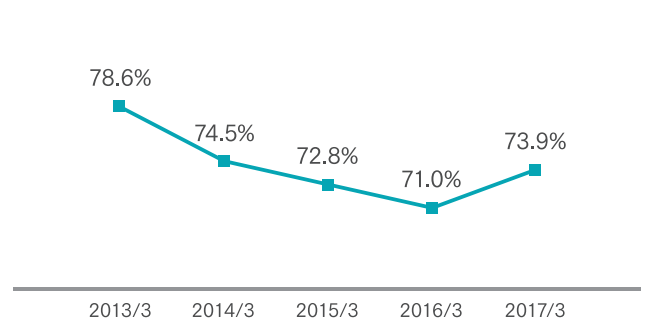
営業利益  
29億29百万円 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益  
19億69百万円 (百万円)



自己資本比率  
73.9%



## 概況・指標の説明

売上高営業利益率

19.2%

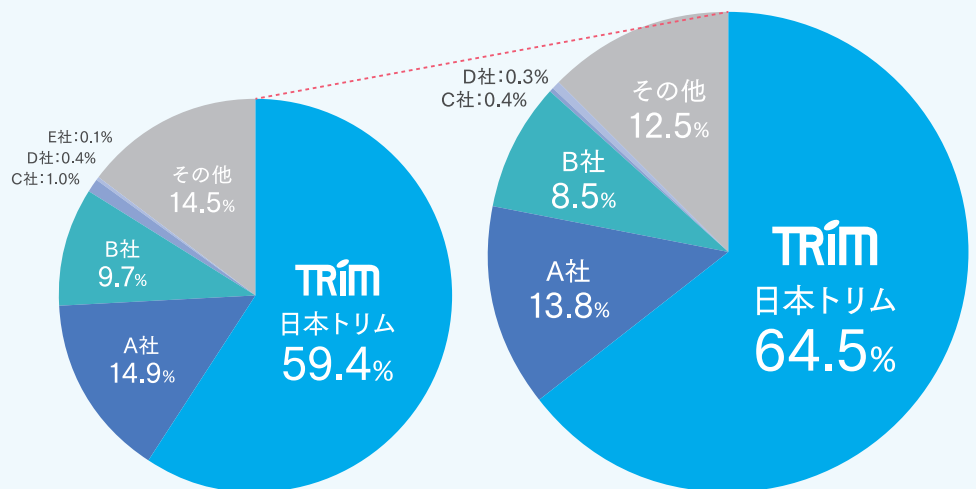
自己資本比率

73.9%

当期の売上高営業利益率は19.2%、自己資本比率は73.9%となりました。いずれも上場企業平均より高い水準で推移しておりますが、より高い収益率及び安定した財務体制の構築に取り組んでまいります。  
(上場企業平均: 売上高営業利益率6.15%、自己資本比率38.4% 東証ホームページ参照)

## 整水器 | マーケットシェア 売上高No.1

矢野経済研究所「2017年版 浄水器・整水器市場の実態と展望」によると、当社は整水器売上高において、引き続きシェアNo.1を獲得いたしました。前回調査(2014年)から5.1ポイントアップの64.5%となり、業界トップランナーとして整水器市場全体の拡大を目指してまいります。



矢野経済研究所  
「2014年版浄水器・整水器市場の実態と展望」

矢野経済研究所  
「2017年版浄水器・整水器市場の実態と展望」

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特定口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.nihon-trim.co.jp/">http://www.nihon-trim.co.jp/</a> )に掲載いたし ます。ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告をすることができな い場合の公告方法は日本経済新聞に掲載する 方法といたします。

### 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別  
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置  
法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、そ  
の添付資料としてご利用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配  
当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計  
算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に  
保管ください。

## 株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行済の  
株式の総数 **8,334,192株** (自己株式322,588株を除く)

株主数 **6,972名**

## 会社情報 (2017年6月27日現在)

### 会社の概要 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社 日本トリム NIHON TRIM CO., LTD.
本社	大阪市北区梅田二丁目2番22号
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	480名(関係会社含む)
主な事業内容	電解水素水整水器及びカートリッジ等の製品開発・販売

### 役員

代表取締役社長	森澤 紳勝	取締役	内田 士郎
専務取締役	尾田 虎二郎	常勤監査役	奥田 健一
常務取締役	西谷 由実	監査役	今橋 正隆
取締役	田原 周夫	監査役	篠田 哲志

### 拠点

本社	大阪
支社	札幌・仙台・東京・名古屋・広島・高知・福岡
営業所	青森・宇都宮・高崎・大宮・千葉・横浜・新潟・長野・静岡・浜松・ 金沢・京都・姫路・山陰・岡山・松山・長崎・熊本・鹿児島・沖縄 東京オフィス

### 主なグループ企業

#### 国内

- 株式会社トリムエレクトリックマシナリー
- 株式会社トリムメディカル ホールディングス
- 株式会社トリム メディカル インスティテュート
- 株式会社トリムライフサポート
- 株式会社ステムセル研究所
- ヒューマンライフコード株式会社
- ストレッチス株式会社

#### 海外

- PT. SUPER WAHANA TEHNO (インドネシア・タンゲラン)
- 広州多寧健康科技有限公司 (中国・広東省)
- 多寧生技股份有限公司 (台湾・桃園市)
- Hankook Trim CO., LTD. (韓国・ソウル市)